

2007年(平成19年)5月2日(水曜日)

南富士産業

中国で人材紹介拡大

日系企業対象、広州に拠点

屋根・外壁工事の南富士産業(静岡県三島市、杉山定久社長)は新規分野である中国での人材紹介事業を拡大するため、広東省広州市に顧客の日系企業からの相談を受け

付ける拠点を開設した。人材紹介の需要増に伴い上海市でも同様の拠点開設を計画している。

南富士産業は広州、北京、武漢、西安の四市で、中国人大学生を企業の経営幹部に養成する塾「GM C(グローバル・マネジメント・カレッジ)」を運営する。契約先の企業に学生を派遣して企画力やリーダーシップを学ばせる。卒業と同時に中

国の日系企業に送り込み、企業から育成料を受け取る。広州市は早くから多くの日本企業が進出した深圳に近く、マネジメント層の不足に悩む企業が多いため紹介事業の拠点を設ける。名称は「広州ビジネスセンター」。専任の担当者が日本の本社から赴任し、学生にコスト

削減や市場開拓などの助言もする。中国での人材紹介の売上高は一億円前後で、〇八年三同期は二億円へ倍

増する計画。業務管理ソフトウエアも開発、販売し、これらを合わせた同期の中国事業売上高を三億―四億円と見込む。